

大田原信用金庫
2024年度上半期

ディスクロージャー

2024. 4. 1 ▶ 2024. 9. 30

Ohtawara Shinkin Bank Disclosure

お客さま一人ひとりに、いつも心のこもったサービスを。

地元の皆さまとともに



大田原信用金庫

ごあいさつ

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より大田原信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の経営状況などのご報告として、「2024年度上半期ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

2024年度上半期につきましては、2028年2月に創立100周年を迎えるにあたり、その直前までを計画期間とする第7次中期経営計画「地域の成長と発展とともに着実に100周年を迎える」をスタートさせました。本中期経営計画の下で、さらに地域密着型金融を推し進め、地域の成長と発展に貢献し、地域の皆さまから信頼されることで、持続可能性の一層高い信用金庫を目指してまいります。

今後とも、当金庫は地域に密着した金融機関として地元の皆さまの様々なニーズに積極的に取り組んでまいりますので、ご支援・ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

理事長 駒場 善一

大田原信用金庫と地域社会

だいしんは 相互扶助型の金融機関	地域の資金を地域に還流	地域経済の 持続的発展に向けて
当金庫は栃木県北部地域を主な事業区域とし、会員（地域の中小企業や住民）がお互いに助け合い、ともに発展していくことを理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。	地域のお客さまからお預かりした大切な資金（預金等）は、資金を必要とされる地域のお客さまに融資を行い、地域の事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。	地域との強い絆やネットワークを形成し地域経済の持続的発展に努めています。また、金融仲介機能の提供にとどまらず地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。



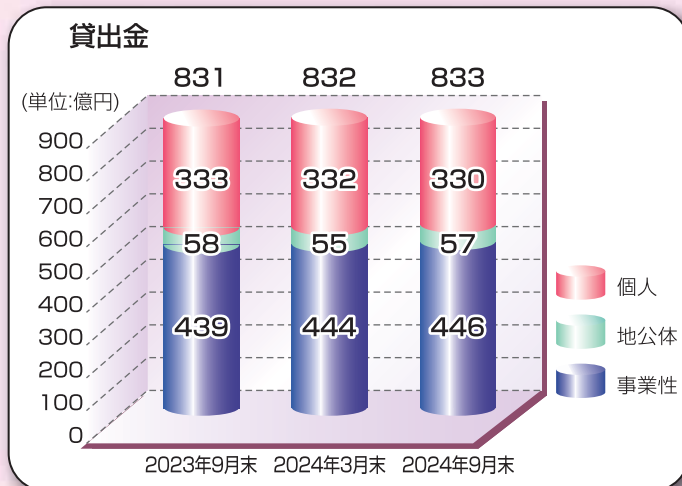
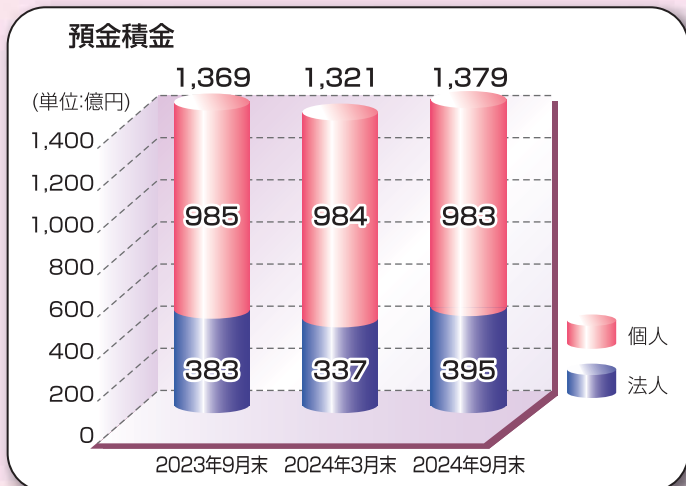
2024年度上半期の概況

大田原信用金庫の2024年度上半期（2024年4月1日～9月30日）における概況をお知らせいたします。

預金積金・貸出金の状況 — 預金積金 1,379 億円、貸出金 833 億円 —

預金積金残高は前期末比58億円増加の1,379億円、貸出金残高は前期末1億円増加の833億円となりました。

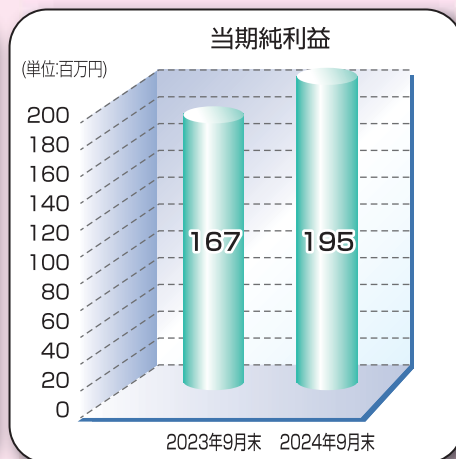
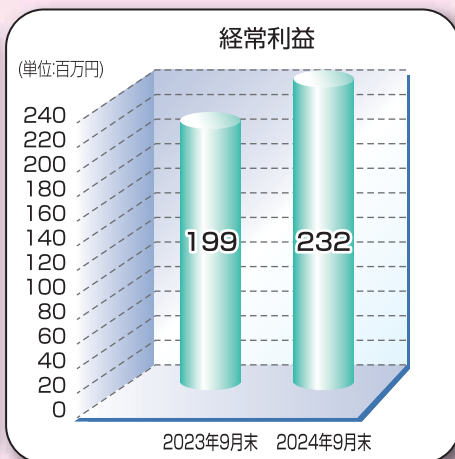
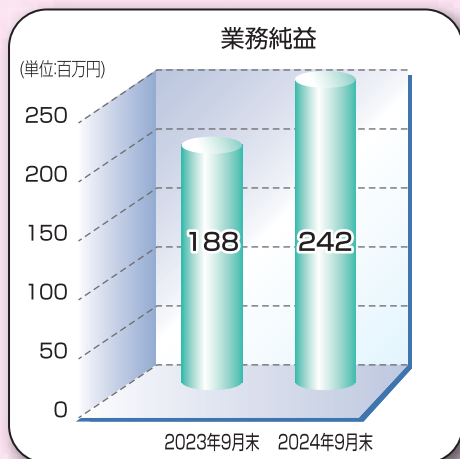
※記載の金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



損益の状況 — 業務純益 242 百万円、当期純利益 195 百万円 —

当期純利益は前年同月比28百万円増加の195百万円となりました。

※記載の金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



自己資本比率 — 国内基準を上回り健全性を維持 —

自己資本比率は13.65%となり、国内基準（4%）を大きく上回っています。

(単位:百万円)

	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
自己資本の額 (イ)	6,831	6,833	7,009
コア資本に係る基礎項目の額	6,857	6,870	7,061
コア資本に係る調整項目の額	△ 26	△ 37	△ 52
リスク・アセット等の額の合計額 (ロ)	51,329	50,787	51,325
信用リスク・アセットの額の合計額	48,488	47,926	48,464
オペレーショナル・リスク相当額の合計額 ÷ 8%	2,841	2,861	2,861
自己資本比率 (イ/ロ)	13.30%	13.45%	13.65%

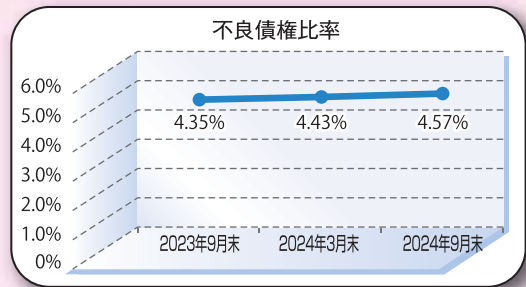
※記載の金額及び比率は原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。

不良債権の状況

金融再生法開示債権

(単位:百万円)

区分	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
金融再生法上の不良債権	3,627	3,698	3,824
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	367	451	445
危険債権	3,238	3,223	3,320
要管理債権	21	23	57
正常債権	79,727	79,762	79,727
合計	83,355	83,461	83,551
不良債権比率	4.35%	4.43%	4.57%



有価証券の状況

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	2024年3月末			2024年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	その他	600	610	10	400	405	5
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	その他	3,500	3,134	△ 365	3,700	3,301	△ 398
合計		4,100	3,745	△ 354	4,100	3,707	△ 392

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	2024年3月末			2024年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	818	493	325	744	477	266
	債券	4,272	4,257	15	3,575	3,558	17
	国債	296	296	0	603	598	4
	地方債	1,375	1,368	6	1,008	1,002	5
	社債	2,600	2,592	7	1,963	1,956	6
	その他	1,888	1,746	141	1,501	1,409	91
	小計	6,979	6,496	482	5,821	5,445	376
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	114	138	△ 24	135	154	△ 18
	債券	17,500	18,527	△ 1,026	18,376	19,556	△ 1,180
	国債	5,755	6,492	△ 736	5,922	6,789	△ 866
	地方債	2,896	2,946	△ 49	3,509	3,575	△ 65
	社債	8,848	9,088	△ 240	8,944	9,192	△ 248
	その他	5,120	5,784	△ 663	5,376	6,013	△ 636
	小計	22,736	24,451	△ 1,714	23,889	25,723	△ 1,834
合計		29,715	30,947	△ 1,231	29,710	31,169	△ 1,458

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

業種区分	2024年9月末			業種区分	2024年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比(%)		貸出先数	貸出金残高	構成比(%)
製造業	151	5,487	6.5	物品貸業	4	83	0.0
農業、林業	71	1,451	1.7	学術研究、専門・技術サービス業	32	643	0.7
漁業	1	0	0.0	宿泊業	17	540	0.6
鉱業、採石業、砂利採取業	2	80	0.0	飲食業	195	1,842	2.2
建設業	487	11,365	13.6	生活関連サービス業、娯楽業	78	1,537	1.8
電気・ガス・熱供給・水道業	13	383	0.4	教育、学習支援業	28	661	0.7
情報通信業	3	13	0.0	医療、福祉	56	2,495	2.9
運輸業、郵便業	47	1,266	1.5	その他のサービス	299	4,603	5.5
卸売業、小売業	299	7,146	8.5	地方公共団体	6	5,761	6.9
金融業、保険業	10	23	0.0	個人	4,662	33,005	39.5
不動産業	137	4,982	5.9	合計	6,598	83,378	100.0

- (注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。
 ※記載の金額及び比率は原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。

◆ マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の管理態勢について

近年のマネー・ローンダリング及びテロ資金供与（以下「マネー・ローンダリング等」という）の防止に向けた国際的な要請の高まりを受け、当金庫では、マネー・ローンダリング等の金融犯罪防止対策を重要な経営課題と位置づけ、「マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策ポリシー」を定め、管理態勢の構築・強化に取り組んでいます。

具体的には、マネー・ローンダリング等の責任者を事務部担当理事、統括部署を事務部と定め、関係部署と連携のもと、当金庫が直面するリスクの特定・評価を行い、リスクに応じた低減措置を講じるなど、金融犯罪の防止に努めています。

◆ 経営者保証に関する取組方針について

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

◆ 金融仲介機能の取組みについて

2024年9月末における、当金庫の主な金融仲介機能の取組み状況は以下のとおりです。

(1) お取引先企業の経営改善や成長力の強化への取組み

① 当金庫がメインバンクとして取引を行っているお取引先は507先、メイン先への融資残高は230億円です。そのうち、経営指標（売上・営業利益率等）が改善したお取引先は283先で、経営指標の改善先に対する融資残高は133億円です。

(2) お取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上への取組み

① 当金庫が関与した創業融資支援件数は19件、第二創業はありませんでした。

② ライフステージ別の与信先数及び融資額は、創業期が186先30億円、成長期が99先49億円、安定期が686先263億円、低迷期が54先13億円、再生期が103先31億円です。

創業期：創業、第二創業から5年まで

成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超

安定期： // 120%~80%

低迷期： // 80%未満

再生期：貸付条件の変更または延滞がある期間

◆ 地域とのあゆみ

月	日	出来事
6月	4日	信用金庫の日（6/15）統一事業として献血の実施
	10日～13日	経営報告会（一区、二区、三区）開催
	25日	第96期通常総代会を開催
7月	10日	大田原商工会議所「創業スクール」にて創業を支援

◆ 窓口営業時間変更の全店舗実施について

少人数でより安全かつ効率的な店舗運営を図るため、窓口営業時間を下記の通りとしています。

【実施店舗】本店営業部、黒磯支店、西那須野支店、黒田原支店、野崎支店、那須塩原支店、南大通り支店、矢板支店

	平	日
午前の部	9:00	～ 11:30
(休業時間)	11:30	～ 12:30
午後の部	12:30	～ 15:00

◆ 那須塩原支店、南大通り支店 全自動貸金庫サービスのご案内

那須塩原支店、南大通り支店では、全自動貸金庫を備えております。

窓口業務を行っていない時間帯や土日祝日もご利用いただけ、個室でプライバシーも確保されています。

店舗の名称及び所在地



店舗一覧

No.	店舗名	郵便番号	所在地	電話番号
①	本店営業部	〒324-0056	大田原市中央1丁目10番5号	0287-22-3130
②	黒磯支店	〒325-0061	那須塩原市末広町53番地107	0287-62-0678
③	西那須野支店	〒329-2727	那須塩原市永田町5番1号	0287-36-1255
④	黒田原支店	〒329-3222	那須郡那須町大字寺子丙2番地73	0287-72-1131
⑤	野崎支店	〒324-0035	大田原市薄葉2220番地5	0287-29-1221
⑥	那須塩原支店	〒329-3136	那須塩原市前弥六南町2番地1	0287-65-2031
⑦	南大通り支店	〒324-0054	大田原市若松町1650番8	0287-22-3800
⑧	矢板支店	〒329-2142	矢板市木幡1369番地9	0287-43-4646

<ATM取扱時間> 平日8:45~19:00
土・日・祝9:00~17:00

営業エリア

栃木県大田原市、矢板市、那須塩原市、那須郡那須町、さくら市、塩谷郡塩谷町及び福島県白河市（旧表郷村、旧大信村、旧東村を除く）

とちまるネット

栃木県内に本店を置く7金融機関（当金庫・栃木信用金庫・佐野信用金庫・烏山信用金庫・足利銀行・真岡信用組合・那須信用組合）は、「とちまるネット」によりATM業務提携を行っています。

平日8時45分から18時まで、提携金融機関のお客さまが、提携金融機関のATMを利用して現金のお引き出しを行う場合、「他行ATM利用手数料」が無料となります。

※時間外手数料については、各金融機関所定の手数料がかかります。

※お振込みにおける「他行ATM手数料」は、提携の対象外です。

※ATMの設置場所や稼働時間等の詳細につきましては、各金融機関のホームページをご覧ください。

 **大田原信用金庫**

〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-10-5
TEL:0287-24-2266 FAX:0287-22-5102
<https://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>



大田原信用金庫

検索